

令和4年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・拍に合わせて体を動かしたり、リズム打楽器を演奏したりする活動を充実させ、音楽の楽しさを味わわせることにより、主体的に学習に取り組めるようになった。
- (中)・基礎的な技能の習得と共通事項の理解をさせることで、思いや意図をもって音楽活動に取り組めるようになった。
- (高)・鑑賞領域の充実を図り、聴いて学んだことや気付いたことを表現活動に繋げることで、主体的に学習に取り組めるようになった。

(2) 課題

- (低)・鑑賞活動を通して音楽から感じ取る力を伸ばすことができたが、音楽の様子を表す語彙が少ないことや、共通事項を正しく使えないことで、思ったことをうまく伝えられない場面がみられた。
- (中)・コロナウイルス感染拡大による活動制限のため、リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。
- (高)・器楽指導について、個別の指導を計画的に取り入れたが、コロナウイルス感染拡大による活動制限のため、一人一人の技能の習得に課題が残った。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・合奏活動はわかりやすいルールを設定し、音を合わせることの心地よさを体感させ、時間の許す限り多くの合奏活動を取り入れる。	・学習のなかで様子を表す言葉と共通事項を関連付けて指導していき、思いと言葉をつなげ、伝える力を伸ばす。	◎伴奏やメトロノーム、CDを使用したリレー奏や、手拍子でのリズム遊びを取り入れ、拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりできるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎フラッシュカードやICTを活用したり、全員が使える電子キーボードによる運指指導の時間を取り入れたりするなど、既習事項について着実に理解させ自信をつけさせる。	・客観的に振り返りができるよう、聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	・積極的に活動に参加できる支援を整え、言葉カードを活用して語彙を増やし、分かったことを伝える環境を整える。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・計画的に復習の時間を取り入れ、フラッシュカードやICTを活用し、既習事項の復習や技能（持ち方、運指など）の指導を行い、自信をもって学習に取り組めるようにする。	・客観的に振り返りができるよう、聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	◎個別に指導する時間を確保し、リコーダーや鍵盤ハーモニカなどの器楽指導では運指を丁寧に確認し、スモールステップを組んで指導する。